

2024年度

環境経営レポート

エコアクション21活動実績報告

対象期間 (2023年10月1日～2024年9月30日)



発行日 2024年12月23日

横浜製機株式会社

認証・登録番号 : 0009344

目 次

	頁
1. 組織の概要	3
2. 対象範囲及び組織	4・5
3. 環境経営方針	6
4. 環境目標	7・8
5. 環境活動計画	9
6. 環境目標の実績	10
7. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	11
8. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	12
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	13



1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

横浜製機株式会社

◆代表者 代表取締役 古川 史朗

◆設立 1957年10月

2) 所在地

◆本社工場 横須賀市内川一丁目8-31

◆第二工場 横須賀市内川二丁目2-15

◆第三工場 横須賀市内川二丁目2-24

3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

◆環境管理責任者 総務部 部長 橋満 和美

◆担当者連絡先 同上

電話 046-835-6611

FAX 046-834-7730

4) 事業の概要

◆業 種 輸送用機械器具製造業

◆主な製品 鉄道車両用各種ドアー及び各種内装パネル部品

5) 事業の規模

◆資本金 2,550万円

◆年間売上高 34,5 億円（2024年度）

◆従業員数 179（2024年10月1日現在）

◆工場規模 建物 4,172㎡（本社工場）

1,344㎡（第二工場）

983㎡（第三工場）

6) 主要設備一覧

設 備 名	数 量	設 備 名	数 量
ダイレス成形機	1	多関節ロボット	3
NCプレスブレーキ	5	マシニングセンター(縦) #5	2
NCターレットハンチ	2	汎用フライス	1
(独製)レーザー加工機	2	汎用旋盤	1
ロータハンダ	2	バリトリ機	1
シャーリングマシン	2	交流スポット溶接機	10
三次元特殊成型機	1	インバータースポット機	4
3本ローラー	2	各種アーク溶接機	25
内製高速接着機	15	引張り試験機	1

2. 対象範囲及び組織

1) 対象範囲（認証・登録範囲と対象活動）

① 認証・登録範囲

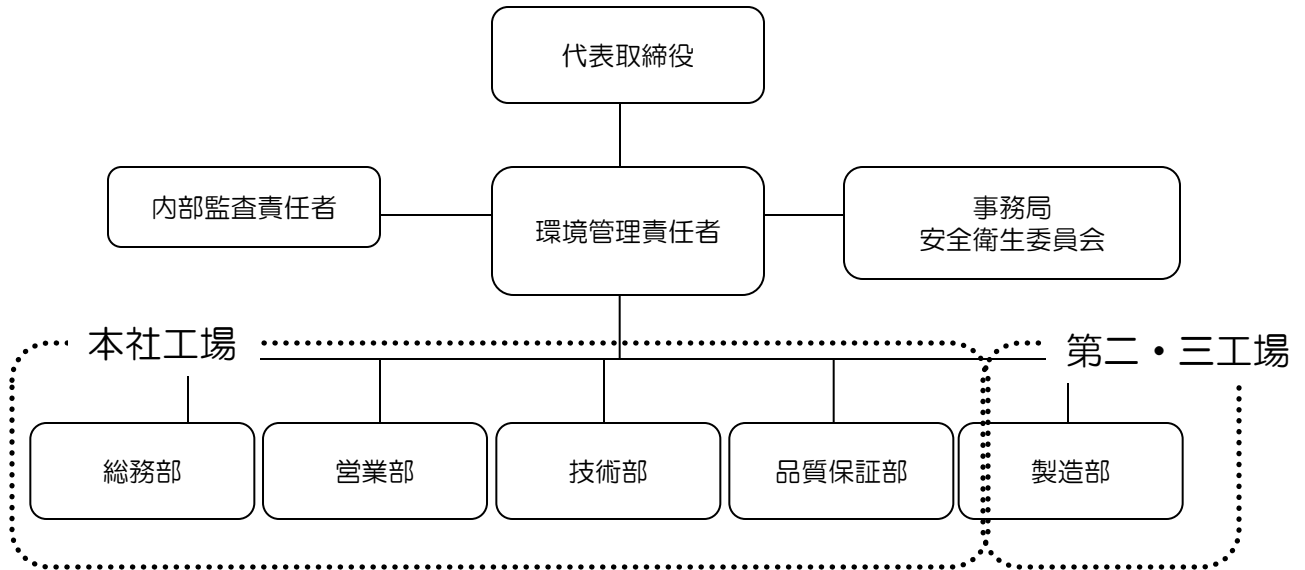
本社工場、第二工場、第三工場

② 認証・登録対象活動

鉄道車両用各種ドア・各種内装パネル部品の
製造・販売

2) 組織

【 実施体制 】



代表取締役

- ①環境管理責任者の任命
- ②環境経営方針の決定
- ③環境関連の実施及び管理に必要な資源の準備
- ④全体の評価と見直し
- ⑤社内情報の外部公開可否の決定
- ⑥内部監査責任者の任命

環境管理責任者

- ①環境経営システムの確立・実施・維持の継続的改善
- ②代表者への環境経営システムの実施結果の報告

部門責任者

- ①環境経営システムの方針、実施計画を各部門で実施・維持継続的改善
- ②担当部門をまとめ、部門の活動を計画的に実施（改善活動の推進）
- ③部内従業員の一般教育

事務局

- ①環境管理責任者の補佐
- ②環境関連法規等の調査及び遵守と確認
- ③社内ミーティングの運営及び記録の管理
- ④環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック
- ⑤環境目標、環境活動計画書の原案作成
- ⑥環境活動レポートの作成
- ⑦外部からの環境に関する苦情や要望の受付窓口
- ⑧管理者教育
- ⑨特定の業務に従事する者の教育

全員

- ①環境方針・目標・活動計画に基づき活動する。
- ②緊急時の対応及び緊急連絡網の把握

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

〈基本理念〉

横浜製機株式会社は、輸送用機械器具製造業としてモノづくり分野に於いて常に「独自の技術で社会に貢献」することをテーマにしてきました。これからもお客様に満足していただける製品を届ける努力をしていくとともに、事業活動を通して省エネと廃棄物の抑制に取組み、環境負荷を継続的に削減して地球環境保護に貢献いたします。

〈行動指針〉

- 1) 事業全般として環境負荷を低減するために以下のことに取組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減のため、電力、燃料の削減
 - ② 事業活動から排出される廃棄物の削減
 - ③ 水の使用量の削減
 - ④ 化学物質使用量削減と取扱い管理の徹底
 - ⑤ 鉄道車両用内装パネルにおける部品点数の削減を指向し、当該製品の顧客への積極的な提案活動
- 2) 環境マネジメントシステムの構築と継続的改善に取り組みます
- 3) 環境関連の法律・条例を遵守し、定期的に遵守状況の確認・評価を行います。
- 4) 環境教育を計画的に実施して、社員の環境意識の向上を図り全員が環境活動に取組みます。

環境方針は文書化し全社員に周知徹底するとともに、定期的に見直します。又、環境経営レポートを社外に広く公開して地域社会の人々と一緒に協力して環境活動の推進に努めます。

2012 年 8 月 1 日 制定

2022 年 12 月 1 日 改定

横浜製機 株式会社

代表取締役 古川 史朗

4. 中期環境目標 (2021年10月～2024年9月)

項 目	単位	基準値 2020.10～2021.09 (2021年度)	目標値 2021.10～2022.09 (2022年度)	目標値 2022.10～2023.09 (2023年度)	目標値 2023.10～2024.09 (2024年度)
電力使用量の削減	kWh	1,359,741	1,346,144 (99%)	1,332,546 (98%)	1,318,949 (97%)
Co2排出量換算(kg)		601,006	594,995	588,985	582,975
化石燃料使用量の削減 (灯油)	L	23,082	22,851 (99%)	22,620 (98%)	22,390 (97%)
Co2排出量換算(kg)		57,434	56,860	56,285	55,711
化石燃料使用量の削減 (LPG)	kg	635	629 (99%)	622 (98%)	616 (97%)
Co2排出量換算(kg)		1,905	1,884	1,865	1,846
化石燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	17,093	16,922 (99%)	16,751 (98%)	16,580 (97%)
Co2排出量換算(kg)		39,683	39,287	38,890	38,494
化石燃料使用量の削減 (軽油)	L	9,187	9,095 (99%)	9,003 (98%)	8,911 (97%)
Co2排出量換算(kg)		23,760	23,522	23,284	23,047
二酸化炭素排出量合計	kg	723,788	716,744 (99%)	709,504 (98%)	702,264 (97%)
産業廃棄物の排出削減	kg	139,410	138,016 (99%)	136,622 (98%)	135,228 (97%)
一般廃棄物の排出削減	kg	209	207 (99%)	205 (98%)	203 (97%)
水使用量の削減	m	2,439	2,415 (99%)	2,390 (98%)	2,366 (97%)
化学物質使用量の削減	kg	594	588 (99%)	582 (98%)	576 (97%)
部品点数を削減した内装パネルの 顧客への提案活動	件		12件	12件	12件
教育・訓練の実施	回	3回	3回/年	3回	3回
その他環境に有益な活動	回	6回	6回	6回	6回

※1 東京電力管内二酸化炭素排出係数・・・0.442kg-CO2/kwh (2020年度 環境省 官報ヨリ)

4. 中期環境目標 (2024年10月～2027年9月)

項 目	単位	基準値 2023.10～ 2024.09 (2023年度)	目標値 2024.10～ 2025.09 (2025年度)	目標値 2025.10～ 2026.09 (2026年度)	目標値 2026.10～ 2027.09 (2027年度)
電力使用量の削減	kWh	1,357,512	1,343,937 (99%)	1,330,362 (98%)	1,316,787 (97%)
Co2排出量換算(kg)		529,430	524,135	518,841	513,547
化石燃料使用量の削減 (灯油)	L	22,342	22,119 (99%)	21,895 (98%)	21,7672 (97%)
Co2排出量換算(kg)		55,632	55,075	54,519	53,963
化石燃料使用量の削減 (LPG)	kg	299	296 (99%)	293 (98%)	290 (97%)
Co2排出量換算(kg)		896	887	878	869
化石燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	13,324	13,191 (99%)	13,058 (98%)	12,924 (97%)
Co2排出量換算(kg)		30,912	30,603	30,294	29,984
化石燃料使用量の削減 (軽油)	L	8,742	8,655 (99%)	8,567 (98%)	8,480 (97%)
Co2排出量換算(kg)		22,555	22,329	22,104	21,878
二酸化炭素排出量合計	kg	639,425	633030 (99%)	626636 (98%)	620242 (97%)
産業廃棄物の排出削減	kg	106,530	105,465 (99%)	104,399 (98%)	103,334 (97%)
一般廃棄物の排出削減	kg	160	158 (99%)	157 (98%)	155 (97%)
水使用量の削減	m	2,049	2,029 (99%)	2,008 (98%)	1,988 (97%)
化学物質使用量の削減	kg	44	44 (99%)	43 (98%)	43 (97%)
部品点数を削減した内装パネルの 顧客への提案活動	件		12件	12件	12件
教育・訓練の実施	回	3回	3回/年	3回	3回
その他環境に有益な活動	回	6回	6回	6回	6回

※1 東京電力管内二酸化炭素排出係数・・・0.390kg-CO2/kwh (2022年度 環境省 官報ヨリ)

5. 環境活動計画（2023年10月～2024年9月）

（具体的取組事項）

項 目	主担当 副担当	取組事項	対象設備
電力使用量の削減	寺田聡理 田中成世	・昼休みの消灯徹底（パトロール実施） ・空調温度の適正化（冷房28℃、暖房20℃） ・使用しない設備機器の電源OFF推進 ・夜間、休日のPC、周辺機器の電源OFF推進	—
化石燃料使用量の削減 （灯油）	吉田直樹 橋満和美	冬期の石油ストーブ利用の適正化推進	石油ストーブ35台
化石燃料使用量の削減 （LPG）	吉田直樹 橋満和美	夏場の給湯器使用制限 冬場の給湯器利用抑制	給湯器 5台
化石燃料使用量の削減 （ガソリン）	今村伸彦 橋満和美	エコドライブ励行	社有車 乗用車 4台 2tトラック 1台
化石燃料使用量の削減 （軽油）	吉田直樹 川田修司	フォークリフトのエコドライブ励行	フォークリフト 5台
産業廃棄物の排出削減	寺田聡理 南澤拓実	・歩留まりを上げ、廃棄物を少なくする	—
	吉田直樹 高木大地	・製品不良の低減	—
一般廃棄物の排出削減	橋満和美 米山祥代	・ゴミ分別の徹底によるリサイクル推進 ・社内文書のウラ紙利用、両面印刷推進による紙ゴミ削減	—
水使用量の削減	今村伸彦 野路宏之	節水の徹底	水道 11カ所
化学物質使用量の削減	寺田聡理 當摩 貴	・接着作業時の使用量削減 ・使用量削減に向けた意識付け活動	—
部品点数を削減した内装 パネルの顧客への提案	寺田聡理 當摩 貴	製品の軽量化、リサイクル性向上、部品点数の削減を指向	—
教育・訓練の実施	小笠 原治 長谷川秀夫	・環境に関する教育を全社員対象に実施 ・緊急時の対応訓練の実施	—
その他環境に有益な活動	各部門長	各部門において別途計画のうえ、環境に有益な活動を行う	—

6. 2024年度環境目標の実績（対象活動期間）

項 目	単位	基準値 2020.10～ 2021.09	目標値 (基準値比)		第1四半期計 (2023.10～12 月)	第2四半期計 (2024.1～3月)	第3四半期計 (2024.4～6月)	第4四半期計 (2024.7～9月)	期間合計 (2023.10 ～ 2024.9月)	目標値比 (%)	評価
電力使用量の削減	kwh	1,359,741	1,318,949 (97%)	目標値	335,960	316,377	318,297	348,315	1,318,949	102.9%	×
					148,494	139,839	140,687	153,955	582,975		
				実績値	352,711	337,100	322,135	345,566	1,357,512		
Co2排出量換算(kg)		601,006	582,975		155,898	148,998	142,384	152,740	600,020		
化石燃料使用量の削減 (灯油)	L	23,082	22,390 (97%)	目標値	6,889	12,044	1,493	1,964	22,390	99.8%	○
					17,141	29,967	3,715	4,888	55,711		
				実績値	5,167	14,729	1,453	993	22,342		
Co2排出量換算(kg)		57,434	55,711		12,866	36,675	3,618	2,473	55,632		
化石燃料使用量の削減 (LPG)	kg	635	616 (97%)	目標値	193	261	122	41	616	48.5%	○
					577	782	365	123	1,848		
				実績値	81	131	74	14	299		
Co2排出量換算(kg)		1,905	1,846		243	392	221	41	896		
化石燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	17,093	16,580 (97%)	目標値	4,320	3,503	4,351	4,406	16,580	80.4%	○
					10,031	8,132	10,101	10,229	38,493		
				実績値	3,062	2,871	3,444	3,947	13,324		
Co2排出量換算(kg)		39,683	38,494		7,104	6,661	7,989	9,157	30,912		
化石燃料使用量の削減 (軽油)	L	9,187	8,911 (97%)	目標値	2,242	2,276	2,200	2,194	8,911	98.1%	○
					5,797	5,885	5,690	5,675	23,047		
				実績値	2,361	2,272	2,169	1,940	8,742		
Co2排出量換算(kg)		23,760	23,047		6,091	5,862	5,596	5,005	22,555		
二酸化炭素排出量合計	kg	723,788	702,264 (97%)	目標値	182,041	184,606	160,557	174,870	702,074	101.1%	×
				実績値	182,203	198,588	159,807	169,416	710,014		
産業廃棄物の排出削減	kg	139,410	135,228 (97%)	目標値	36,812	34,028	30,701	33,688	135,228	78.8%	○
				実績値	27,570	26,010	30,340	22,610	106,530		
一般廃棄物の排出削減	kg	209	203 (97%)	目標値	55	51	46	51	203	78.7%	○
				実績値	41	39	46	34	160		
水使用量の削減	m³	2,439	2,366 (97%)	目標値	411	684	386	885	2,366	86.6%	○
				実績値	286	658	362	743	2,049		
化学物質使用量の削減	kg	594	576 (97%)	目標値	215	173	104	84	576	7.7%	○
				実績値	5	15	17	7	44		
部品点数を削減した内装 パネルの顧客への提案活動	件	-	12件	目標値	3	3	3	3	12	-	○
				実績値	5	4	5	7	21		
教育・訓練の実施	回	-	3回/年	-	1	1	1	1	4	-	○
その他環境に有益な活動	回	-	6回	-	2	2	1	1	6	-	○

※1 東京電力管内二酸化炭素排出係数・・・0.442(2020年 環境省 官報ヨリ)

7. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容

取組結果【 ○:良好 △:取組み不足 ×:未実施 】

項 目		取組結果	評価、次年度の取組内容
1) 電力使用量の削減	・エアー漏れ箇所の確認・交換 ・定期的に省エネパトロール実施による不必要照明の消灯。	△	数値目標未達となった。 機械設備の稼働増。 蛍光灯からLED化の推進。
2) 化石燃料使用量の削減(灯油)	・各職場に設置のストーブ1台ごとに取り扱い責任者を選任明示。 ・不要時スイッチオフの徹底。	○	数値目標達成となった。 継続推進。
3) 化石燃料使用量の削減(LPG)	・夏期(6月～10月)給湯器の主電源OFFを継続	○	数値目標達成となった。 継続推進。
4) 化石燃料使用量の削減(ガソリン)	・社有車管理簿にエコドライブを呼びかけリーフレットの貼付け ・車別に燃費を実績把握し、月ごとに開示し意識の向上を図る	○	数値目標達成となった。 エコドライブ推進継続。
5) 化石燃料使用量の削減(軽油)	・停車時及び車を離れる際のエンジン停止を徹底するよう、エンジンキーと運転者の作業着を繋いでおく ・走行速度 15Km～20Km	○	数値目標達成となった。 エコドライブ推進。
6) 産業廃棄物の排出量削減	・材料切断、レーザー加工時等歩留まりを考慮したデータ作成を担当者に指導。 ・不良事例の洗い出し、層別等により源流を断つ活動を行う。	○	数値目標達成となった。 継続推進。
7) 一般廃棄物の排出量削減	・ゴミ箱に分別基準及び分別を呼びかける貼り紙を設置。 ・コピー機に裏紙専用トレイを設け社内文書の裏紙活用を推進。	○	数値目標達成となった。 継続推進とDX化検討。
8) 水道使用量の削減	・節水コマの取付。 ・節水と呼びかける貼り紙の設置。 ・トイレタンク内のバックシン交換。	○	数値目標達成となった。 水回りの定期的パトロール確認。
9) 化学物質使用量の削減	・接着剤塗布適正量算出による使用料削減。 ・消費量を金額換算した一覧表掲示意識付け。	○	数値目標達成となった。 継続推進。
10) 部品点数を削減した内装パネルの顧客への提案活動	・技術部において計画、営業部との協働により推進。	○	数値目標達成。 継続推進。
11) 教育・訓練の実施	・各職場ごとに5分程度の環境に関する啓蒙教育実施。 ・避難訓練の実施	○	数値目標達成。 継続推進。
12) その他環境に有益な活動	・事業所周辺の清掃活動を行う ・納品時に使う緩衝材リサイクル	○	数値目標達成。 継続推進。

8. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

主な法規制	適用条項	該当する設備・物質等	担当部門	対応	評価		
					評価方法・対応	評価者	遵守状況
廃棄物処理法	第12条(事業者の処理)他	生産活動から生じる廃棄物(金属、木くず、紙類、プラスチック等)	総務部	・産廃業者との委託契約及び管理 ・マニフェストの管理	マニフェストの保管状況確認 交付状況の報告 6月 産廃業者との契約確認 産廃業者の許可状況確認	橋満	○
廃棄物処理法施行規則	第8条第1号-ロ	廃棄物保管設備	総務部	(1)60cmx60cm 以上表示 (2)表示事項 (イ)産業廃棄物の保管場所である旨 (ロ)保管する産業廃棄物の種類 (ハ)管理者の氏名又は名称及び連絡先	現物確認	橋満	○
消防法	第10条,11条,13条等	製造において使用する第4類危険物に該当する有機溶剤(接着剤、シンナー等)	総務部	屋内貯蔵設備内での適正管理	市消防局による立入検査結果及び対応状況を書類確認	橋満	○
消防法	第17条等	火災報知機 消火栓 消火器 等	総務部	消防設備点検(年2回)実施	・消防署による立入検査結果及び対応状況を書類確認 ・消防設備点検実施状況確認	橋満	○
フロン排出抑制法		エアコン	総務部	四半期に1回以上 簡易点検		橋満	○
家電リサイクル法	特定家電用機器再商品化法	冷蔵庫・エアコン	総務部	業者依頼		橋満	○
自動車リサイクル法	自動車の廃車時に所有者がリサイクル料金の支払い	社有車	総務部	引き取り業者への引き渡し	変更なし	橋満	○
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	・第3条第1項(指定事業所の設置の許可、別表第126 輸送用機器の製造の作業)	プレス機械	総務部	届出	届出書提出状況確認	橋満	○
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	・第6条(指定事業所の表示板の掲示)	プレス機械	総務部	掲示	現物確認	橋満	○
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	第32条第2項(騒音および振動の防止に関する規制基準)	プレス機械、コンプレッサー	総務部	規制基準以下の運転	環境測定結果による確認	橋満	○
大気汚染防止法	第18条の21(事業者の責務)	製造において使用する有害大気汚染物質(トルエン等)	総務部	排出状況の把握及び排出抑制	排出量(購入量)記録確認	橋満	○

- ・違反、訴訟等の有無について

関係当局より違反の指摘はありません

訴訟及び近隣住民からの苦情もありません

自らの遵守状況確認の結果、違反はありません

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1) 環境経営方針

変更の必要はないと思われる

2) 環境目標及び環境活動計画について

活動結果（数値）に対するチェック、アクションが不十分であると思われます。未達成だった項目について、何が原因だったのか、何が足りなかったのか、あるいは達成した項目について、本年度のどの取り組みが効果があったのか、など深掘りして次年度の計画につなげるようにしてください。

3) 実施体制について

変更の必要はないと思われる

4) 全体評価・環境経営システムについて

電力使用量の目標は達成できなかったものの、ほとんどの項目で目標が達成されたということは、ある程度活動が全社的に定着していると言えます。「節約」は心がけとしてはとても大事な事です。しかしながら2050年のカーボンニュートラルの実現は、現状の「節約」の延長線上にはありません。デジタル技術をはじめとした最新の技術による抜本的な取り組みの変革が求められています。

当社はデジタル化が遅れているので、まずはここから進めていきたいと思っています。GXやDX関連の補助金にも目配りを怠らないようにしてください。